

稲作情報

-今後の斑点米カメムシ類の発生状況に注意しましょう-

令和3年7月16日

信楽町や土山町および甲賀町の山間部を中心に、早くから斑点米カメムシ類の発生が確認されています。7月の巡回調査では、すでに本田への飛込みが確認されました。

斑点米カメムシ類の多発生は、品質を落とす原因となるので、**しっかりと防除を行いましょう！**

・斑点米カメムシ類 すくい取り調査結果

7月第2週～3週にかけて斑点米カメムシ類のすくい取り調査を実施したところ、土山町や甲賀町および信楽町の山手のほ場や湖南市の平場ほ場において発生が確認されました。特に、信楽町の山際ほ場での捕獲数が多く、昨年と同様にホソハリカメムシやクモヘリカメムシの発生が多くなっています。

○畦畔の草刈り＋薬剤防除で防除効果を高めよう！

<畦畔除草のポイント>

畦畔のイネ科雑草（特に雑草の穂）は斑点米カメムシ類のエサとなり、誘引源や増殖源となります。イネの出穂期頃に稲穂に斑点米カメムシ類を寄せ付けないようにするため、以下の点に注意して管理しましょう。



カメムシと斑点米

●畦畔のイネ科雑草を出穂させないようにするための、イネの出穂期2～3週間前と出穂期頃の2～3回の草刈り

●中・晩生品種と早生品種が混在しているところでは、8月下旬の草刈り

